

緑のセンターだより

NO. 226 平成 30 年 1 月 1 日 発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ドクダミ

ドクダミ科 ドクダミ属
Houttuynia cordata

ドクダミは日本を含む東南アジアに広く分布する多年草で、山野の日陰や庭の湿り気の多い場所に自生しています。全草に独特の臭気がありますが、乾燥すると消えます。草丈は 30～50 cm になり、横走する細長い地下茎があり、群生します。葉は長さ 3～8 cm の鋭尖頭の心臓形で、有柄の単葉で互生し、基本的には暗緑色ですが、茎と共にしばしば汚紅紫色を帯びます。また、托葉があります。4 枚の白い花弁のように見える部分は花弁ではなく、総苞片と呼ばれる蕾を包んでいた葉です。中心部の黄色い部分が沢山の花の集合体で、ひとつひとつの花には花弁はありません。花は両性または雄性です。開花期は 6 月～7 月です。



一重咲き種

ドクダミの和名は「毒矯み」（どくだみ：毒を抑える）から来ているといわれています。また、別名にドクダメ（毒溜め）、ジゴクソバ（地獄蕎麦）もあります。中国名と漢方名では魚腥草（ギョセイソウ：腥の意味は「生臭い」）、ベトナム語のザウザプカーまたはザウジエプカーは魚の野菜の葉を意味し、さらには英名の fishmint など、魚の匂いに纏わる名称で呼ばれているようです。英名にはその他に lizard tail（トカゲの尻尾）、chameleon plant（カメレオンの植物）、heartleaf（心臓の葉）という表現もあり、様々な呼び方があるようですが、残念ながらあまりきれいな呼び方はないようです。

加熱することで臭気が和らぐことから、山菜として天ぷらなどにして賞味されることもあるようですが、昔から茎葉の煎液（ドクダミ茶）は民間薬としてお茶がわりに服用されてきました。開花期に全草を刈り取り、乾燥保存するのが最適です。

この開花期の地上部を乾燥させたものは、生薬名「十葉」（じゅうやく、重葉）とされ、日本薬局方にも収録されています。日本薬局方は厚生労働省で制定されている医薬品に関する品質規格書です。十葉の煎液には利尿作用、高血圧、動脈硬化の予防作用があるとされています。また、湿疹、かぶれなどには、生薬をすり潰したものを貼りつけたり、煎液を塗ると良いそうです。漢方では解毒剤として用いられるそうです。



八重咲き種

ドクダミの薬理成分の代表にデカノイルアセトアルデヒドがあります。生のドクダミに特有の臭気成分の一つで、抗菌作用、抗カビ性があります。白癬菌やブドウ球菌も殺す作用があるのですが、乾燥させると酸化されて抗菌効果は失われてしまうそうです。他の成分も抗菌作用や利尿作用、動脈硬化の予防作用と多岐にわたるようで、江戸時代の儒学者・本草学者である貝原益軒が著した『大和本草』には、馬に与えると「十種ノ薬ノ能アリトテ十葉ト号スト云」と書かれています。牧野富太郎はその著書の中で、「ジウヤクとは漢名の葢（しゅう）から来た名である」としています。

札幌でも容易に越冬するため花壇の植栽にも使われます。耐陰性があり、湿り気を好みますが、過湿や多肥のもとでは、草姿がだらしくなる傾向があります。地下茎で広がり、一度はびこると取り除くのは困難です。増殖は、春の株分けによりますが、種子を湿った砂質壤土に取りまきしてもよいです。一重咲きのほか、観賞用に八重咲き、斑入り種の「カメレオン」（別名：五色ドクダミ）があります。（T. T）

<参考文献> 「園芸植物大事典」小学館、「園芸大百科事典」講談社、「香りと花のハーブ図鑑 500」主婦の友社ほか

<参考

1 月の 園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
※ 12/29～1/3 は年末年始のため休館します。
※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は
冬期間相談受付しておりません。

新春特集 「羽子板」

最近、子供のお正月遊びで、独楽、福笑い、羽根つき、凧揚げ、歌留多などを見る機会がほとんど無くなってしまいました。

童謡『お正月』(作詞：東くめ、作曲：滝廉太郎) 歌詞には凧や独楽、まりのほか、「追羽根ついて遊びましょう」、とあります。この追羽根は二人で羽根をつき合う遊び、つき羽根は一人で続けて羽根をつく遊びです。

羽子板は主に桐、杉、カツラの木から作られ、女の子の初正月に『災いをはね(羽根)のけ美しく健康に育つように』と無病息災を祈り贈ったことから始まり、お正月の遊びとして広まったと言われています。

羽子板の無病息災の伝えは板だけではありません。羽子板でつく玉に使われる黒くて堅い玉は“ムクロジ”という大木の種子で、これは漢字で「無患子」と書き、「子供が患わない」願いのほか、羽根を羽子板でコンコンと打つ音が邪気(邪鬼)を払い子どもを病気から守る遊びとしての願い説、昔は子どもが病気を患う原因の多くが蚊とされており、飛ぶ羽根を益虫のトンボに見立て、正月に羽根つきをすることで夏になっても蚊に刺されないと信じられていた説などがあるようです。

羽子板の歴史は平安時代に宮中で行われていた『毬杖(ぎっちょう)遊び』が起源と言われています。毬杖とは先がヘラのような形をした杖のことで、これで木製の毬(まり)をホッケーのように打ち合う遊びです。後の鎌倉時代に杖が変化して羽子板になったといわれています。鎌倉時代の書物『下学集』には、羽子板の記述があり、「正月に之を用う」と載っています。

また、室町時代には羽子板を胡鬼板(こきいた、こぎいた)、ムクロジの実に鳥の羽を付けた羽子は「胡鬼子(こきのこ)」と呼び、御所では公卿対女房の「胡鬼子勝負」も行われたと記述があります。その後、室町時代には羽子板が『羽根つき用』と『飾り用』に分かれてきます。桃山時代に描かれた絵の中には羽子板に梅や左義長(宮中の正月の儀式で邪悪を追い払う行事)を描いたものが残されています。書物では、後崇光院(ごすこういん=太上天皇)の記した日記『看聞御記(かんもんぎょき)』の正月の条に、宮中で女官などが男組と女組に分かれて羽根つきを行った事、当時の足利将軍が年末に、宮中へ羽子板を贈った事が記録されています。

羽子板も江戸時代の後期から、押絵技法が確立し、歌舞伎役者の姿を表して一段と華麗さを増し、庶民の人気を集めるようになりました。昔からの伝承によって諸々の邪気をはね(羽根)除けて、健やかに育つようにとの願いが込められている羽子板も由緒ある日本の伝統工芸品です。

江戸中期から年の瀬の風物詩である羽子板市は浅草寺境内で毎年12月17日～19日に行われます。

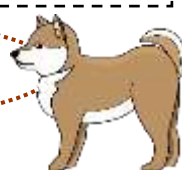
〈参考文献〉「春夏秋冬を楽しむ暮らし歳時記」成美堂出版、「浮世絵で見る年中行事」山川出版

◆フクジュソウのお正月後の育て方

フクジュソウはナンテンと寄せ植えにし「南天(難を転じて)福と成す」とお正月の縁起物として売られています。また、フクジュソウは福寿草と書き、非常におめでたい名前です。また、別名では「元日草」「朔日草」といわれますが、旧正月(平成30年は2月16日)の頃に花を咲かせることからとされています。フクジュソウは北海道から九州の山野に自生しており、道内での自然開花は4月中旬～5月上旬になります。



明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。



羽子板

毬杖
(ぎっちょう)

独楽

凧揚げ

今回は、「暮れに福寿草の寄せ植えを購入しましたが、一、二輪咲いた後は蕾のまま枯れてしまいます。どのようにすると良いのでしょうか？」との相談についてお答えします。

大きな原因は鉢の大きさと置き場所が考えられます。正月用の寄せ植えや化粧鉢植えの多くは浅鉢が使われています。フクジュソウは根が多く、長いので鉢植で育てるには中深～深鉢が適しています。また、光線不足になると開花しないことがありますので、育て方のポイントに注意して育てましょう。

1. 置き場所…開花中は室内の窓辺など日のよく当たる場所に置きます。日当たりが悪いと開花しない、ぱっときれいに開花しないといったことがあります。

2. 水やり…土の表面が乾き始めたら、たっぷりと水やりをします。開花中の花には水がかからないように、注意しましょう。夏期の休眠期は地上部が無くなりますが、地中には長い根と芽があります。カラカラに乾かしてしまうと枯死してしまいますので、休眠期も忘れずに水やりしましょう。

3. 植え替え…お正月に出回るフクジュソウは促成栽培されていますので花後すぐに植え替えが必要です。微塵を抜いた赤玉土（小粒）と鹿沼土（小粒）を主体に、水はけをよくする軽石を混ぜます。割合は4:4:2が基本です。有機質の多い土を好むので腐葉土を少し混ぜても良いです。

4. 肥料…花が終わり、休眠に入る前の肥料が大切になります。カリ分の多い液体肥料を10日毎に3回ほど与え、その後は止めます。

◆ Q & A ◆

Q

アザレアを購入しましたが、開花中の管理と来年もきれいに咲かせるための管理を教えてください。（北区 K.I さん）

A

花を長く楽しむために開花中の管理は次のことに注意しましょう。

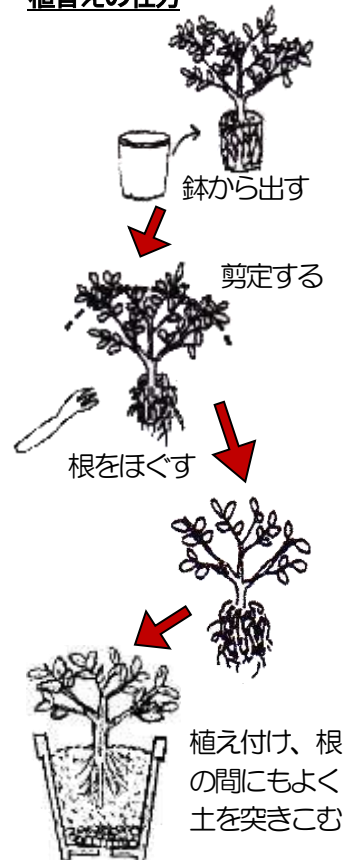
置き場所の温度は日中15～20℃、夜間7～8℃くらいの低温で管理すると花は長持ちします。また、少なくとも1日2～3時間日が当たる窓辺の明るい所に置きます。アザレアは細かい根を多く出すため、乾燥が苦手です。水やりは表面が乾き始めたら行い、水切れをさせないようにして下さい。開花前の葉や蕾には霧吹きを行います。開花中は毎日水やりをしますが、肥料は不要です。花の終わった花がらは、子房も一緒に摘み取ります。蕾のわきより発生する新芽も摘み取ります。

花が咲き終わったら、5℃以上の低温で水切れに注意して管理します。植替えは、毎年1回、気温が10℃くらいになる4月中・下旬～5月上旬に行います。根鉢を1/3くらい崩して、同じ大きさの鉢か一回り大きい鉢に植替えです。弱酸性で水はけ・通気性の良い土を好むので、用土は鹿沼土7:ピートモス3の混合が適しています。赤玉土・ピートモス・火山礫の等量混合も可です。

整枝剪定は植替え時に同時に行います。枝は概ねどの部分を切っても芽は吹きますが、葉が枝にないと枝枯れします。樹形を考え、込んでいる枝、内側の細枝、伸びすぎた枝を切り、株の内部に光が入るようにします。その後、伸びすぎた枝の摘心は5月下旬～6月上旬までに終わらせます。肥料は植替え2週間後からはじめ、置肥、液体肥料ともに7月一杯で打ち切ります。

アザレアの開花習性は、新梢の生長が止まり、充実した先端の芽に花芽が分化し始めます。花芽分化は8月中・下旬の気温が18～25℃、昼夜間の温度差が4～6℃くらいで良く分化し、短日下で促進されますが、気温が12℃以下、25℃以上では分化が遅れるので注意します。分化した花芽は休眠します。休眠は10℃の低温で2ヶ月さらされることで破られます。その後、15～20℃の高温によって開花へと進みます。

植替えの仕方





1月～2月の催しのお知らせ



' 18. 1 月号

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
カラーリーフ展	1月23日(火)～2月12日(月祝)			入場無料
アザレア展	2月14日(水)～2月25日(日)			"
園芸教室				
冬の鉢花の病害虫防除	1月18日(木)	13:30～	1/11(木)～	無料
シンビジウムの育て方	2月9日(金)	"	"	"
クラフト教室				
現代押し花アート体験・ミニ額作り「2コーナーのアレンジ」	2月6日(火)	10:00～	1/11(木)～	2,700円

百合が原公園 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
イベント・展示会				
百合が原緑のセンター温室 リニューアルオープン	2月14日(水)			130円
市民ラン展	2月14日(水)～2月18日(日)			"
アザレア展	2月14日(水)～3月4日(日)			"

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
季節展示「サケの赤ちゃん」	H29.12月5日(火)～2月12日(月祝)	直接会場へ：無料	さけ科学館 582-7555
サケたちのエサやり	1月13, 27日, 2月10日(いずれも土)14:00～		
たきのドキドキラリー	H29.12月23日(土祝)～1月21日(日)	駐車料金有 別途入園料有	滝野すずらん丘陵公園 592-3333
木の実の妖精 タキナッツラリー	H29.12月23日(土祝)～1月21日(日)		
イサム・ノグチ あかり展	1月6日(土)～3月4日(日)	直接会場へ：無料	モエリ沼公園 790-1231
川下公園ウィンターフェスティバル	1月6日(土)～8日(月祝) 10:00～ 毎日遊びが変わります。	遊びにより要申込 及び有料あり	川下公園 879-5311
スノーキャンドル点灯	1月7日(日)、8日(月祝)16:00～	直接会場へ	
冬休み平岡公園にぎわいフェスタ	1月13日(土)13:00～(受付12:30～)	直接会場へ：100円	平岡公園 881-7924
厚別公園冬フェスタ	1月27日(土)・28日(日)10:00～	遊びにより要申込・有料あり	厚別公園 894-1144
第12回ゆきあかり in 中島公園	2月9日(金)～11日(日)点灯16:30～	直接会場へ：無料	中島公園 511-3924
第69回さっぽろ雪まつり	2月5日(月)～12日(月祝)	会場：大通公園	さっぽろ雪まつり実行委員会 281-6400

「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう!2018」

「冬の公園をもっと活用しよう!」、「冬の災害について考えよう!」、「地域のコミュニケーションをはかろう!」というコンセプトで、2003年から開催されている、北のまち札幌ならではの素敵なイベントに今年も参加します。16時30分頃に一斉点灯しますので、お近くにお住まいの方は是非遊びに来て下さい!また、スノーキャンドル作成に当日のボランティア参加を受付している会場もあります。「作ってみたい!」という方はお近くの会場へ行ってみたいかがでしょうか?会場により開催日時が異なります。また、持っていくものがある場合や有料イベントの場合もありますのでご確認ください。

詳細は下記の冬のまちスノーキャンドル実行委員会のサイト、または各参加会場にお問い合わせください。

暖かい格好をして参加してくださいね♪

16:30頃
点灯予定です



1月13日(土)開催!

平岡公園が参加!

1月20日(土)開催!

創成川公園、円山公園、モエリ沼公園、中島公園、前田森林公園、豊平公園
川下公園、旭山記念公園、月寒公園、農試公園、平岡樹芸センター(みどりーむ)
などが参加!

1月27日(土)開催!

厚別公園が参加!

※点灯時間、作成ボランティア、イベント等の詳細は各会場にお問い合わせください。

☆☆☆ 冬のまちスノーキャンドル実行委員会

URL http://park.geocities.jp/sapporo_candl/

☆☆☆